

技術・家庭（技術分野）

学習の目標

- ① 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得しよう。
- ② 生活と技術との関わりについて理解を深め、選択しよう。
- ③ 進んで生活を工夫し、創造する能力と態度をはぐくもう。

授業の参加の仕方

「学習のアドバイス」

- ・身近であるが故に、わからないことに気づきにくい教科です。普段から身の回りの技術に目を向けてみましょう。
- ・週1回または隔週に1回の授業ですので、欠席した場合は課題や提出物について自分で教科担当に確認して下さい。
- ・学習ノートに、授業内容をしっかりと記入しましょう。

「作業の留意点」

- ・作業内容について、説明をしっかりと聞く。
- ・作業に適した服装で臨む。
- ・作業環境を整える。
- ・工具や工作機械は、作業に適した使い方をする。
- ・わからないことは、そのままにせず積極的に聞く。
- ・自分の力で最後までやり遂げる。

評価の観点等

- 評価の観点 ①、②、③
評価規準 ○
評価方法 ★

①「知識・技能」

- 確認・定期テストの正答状況
★テストの結果
○製作の活動
★工具の使用方法、作業方法、作品

②「思考・判断・表現」

- 授業で学んだ知識や技術を生かして、自分の生活を振り返り、生活上の課題を解決することができる。
★テストの結果
★振り返りシートやプリントの記述
★作品

③「主体的に学習に取り組む態度」

- 学習を振り返り、次の学びに生かそうとすることができる。
★振り返りシートなどのワークシートの記述
★テストの結果
★提出物
★作品



技術分野 年間指導計画

1
年
生

0. ガイダンス

・木工室の使い方，授業の進め方などを確認します。

1. 材料と加工の技術

・身の回りの材料加工の技術について学び、多様な工夫や見方・考え方に触れます。その後自分の身の回りの問題を解決できるような製品の製作を行います。

2. 生物育成の技術

・身の回りの生物育成の技術について学び、多様な工夫や見方・考え方に触れます。その後実際に作物の栽培を行います。



2
年
生

3. エネルギー変換の技術

・身近な生活の中で電気エネルギーがどのように利用されているか学びます。簡単な製作物の組み立てや製品の製作により，電気工具の扱い方，電気部品の役割について学び、自分の身の回りから課題を設定し、課題解決のための製作を行います。

4. 情報の技術①

・基本的な情報モラルや情報ネットワークの仕組みについて学習します。
・身の回りの情報の技術について学び、多様な工夫や見方・考え方に触れ基礎的な知識・技能を身に着けます。

3
年
生

5. 情報の技術②

・プログラミング教材を用いてプログラムを組み、自分の生活をより良くする製品を製作します。

